

備える

支える

つなぐ

淡路さわやか県土

「淡路さわやか県土」は、淡路県民局洲本土木事務所の取り組みを広く一般に知ってもらおうと、編集・発行しています。島内の土木事業やまちづくりを中心に、淡路島の風土資産も交えてお伝えしています。

お問い合わせ先

淡路県民局洲本土木事務所
企画調整担当
〒656-0021 洲本市塩屋2丁目4-5
[TEL] 0799-26-2055
[FAX] 0799-24-4513
[URL] <http://web.pref.hyogo.lg.jp/sumotodoboku/index.html>
[e-mail] sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp

発行：2023年3月20日

2022

Vol.63

社会基盤整備の取り組みについて

安全・安心な淡路島を目指し、自然災害に「備える」、日々の暮らしを「支える」、次世代に持続的な発展を「つなぐ」の3つの視点のもと、緊急かつ重要な事業を計画的・効率的に進めます。



兵庫県の淡路島では南海トラフ巨大地震が発生すると大きな津波による被害が予想されています。特に南あわじ市の福良港では、甚大な浸水被害が予想されており、その被害の低減に向けて福良湾に防波堤を整備する「湾口防波堤整備事業」を進めています。

この湾口防波堤と海岸沿いに整備する防潮堤や陸閘により、浸水面積を小さくし、浸水の深さを浅くするとともに、津波の到達を少しでも遅らせることで、ヒト・モノの被害を軽減し、被害が生じていち早く復旧できることを目指しています。

湾口防波堤は

- ①新しく防波堤を整備する区間
- ②既存の防波堤を高上げる区間
- ③水門を整備する区間

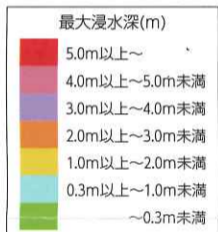
兵庫県最大の津波に備えて ～福良港 湾口防波堤～

で構成されており、令和5年3月現在で約80%の施設整備が完了しています。

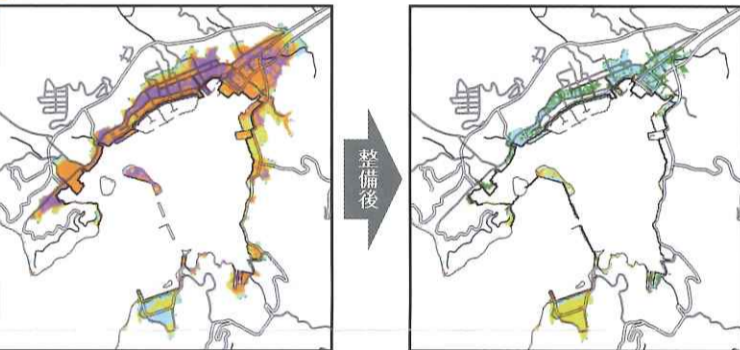
平成29年に工事着手し、令和6年の完了予定に向けて、現在も工事を進めています。

湾口防波堤整備による被害の軽減

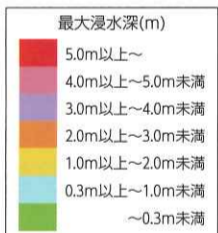
レベル1津波
M8.4
安政南海地震並みの地震動による津波



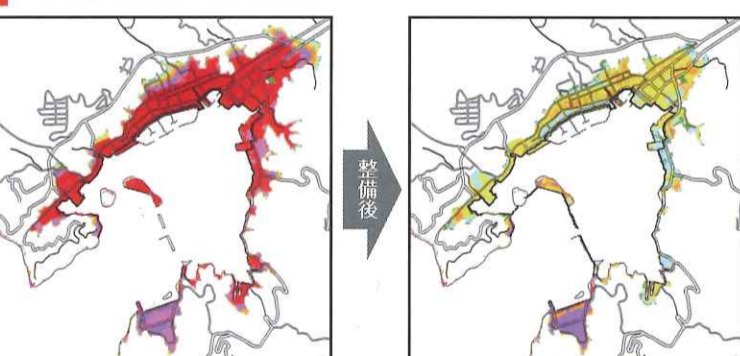
* 堤内地の浸水面積を約6割縮減 * 人家部の浸水深を概ね1m未満に低減
* 木造家屋の全壊がほとんど生じない



レベル2津波
M9.0
最大クラスの地震の地震動による津波



* 堤内地の浸水面積を約3割縮減



出展：津波防災インフラ整備計画(兵庫県)

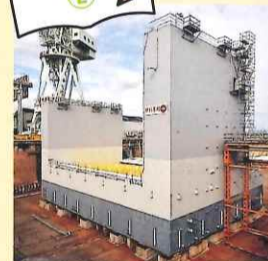
Topics ①

右の施設は防災を学べる「うすまる」です。建物は特殊な素材を使っていますが、皆さんは、この建物の壁がなぜ錆びているのかを知っていますか？ 気になるひとは行ってみよう!!



Topics ②

煙島と洲崎の間に新設する煙島水門は「海底設置型フラップゲート」と言い、西日本で初めて整備される新しい技術の水門です。浮力を利用して扉を閉鎖します。



写真で振り返る



平成30年1月
洲崎工区 かさ上げに着手



平成30年10月
洲崎工区 仮設栈橋の完成



平成31年2月
じゃのひれ側 仮設栈橋



令和2年6月
新設、かさ上げを進める



令和3年1月
煙島～休暇村の整備



令和3年12月
煙島水門の設置

湾口防波堤整備後のイメージ

若人の広場より撮影(向かって左端が休暇村、右側がじゃのひれ)。元々は真ん中あたりにしか防波堤はありませんでしたが、3か所の開口部を除き、防波堤を整備します。

着手する前



完成イメージ



最近の工事紹介



① 県道 大谷鮎原神代線 歩道設置工事

淡路市 大町畑

→ 工事前の課題

歩道がなく、歩行者の安全のため歩道設置工事を行いました。



BEFORE

AFTER



年度内に歩道工事を完成させ、ため池の機能回復も行います。(道路第1課 太田職員)

2023年3月末
完成予定

② 県道 洲本五色線 舗装修繕工事

洲本市 五色町鮎原

→ 工事前の課題

舗装が悪く、車の運転がしずらくなっていたため、新しく舗装をし直します。



BEFORE

AFTER



舗装修繕すると共に段差舗装をする事により交通事故の防止を目指します。(道路第2課 田中職員)

完成

昔の写真でみる社会基盤 ~橋、道路編~

洲本市 塩屋橋

洲本市塩屋2丁目の塩屋橋。1918(大正7)年6月兵庫県淡路島の洲本川に初めて架設した鉄骨橋です。当時は車道と歩道の区別はなく、それだけ交通量が少なかったのです。バスやトラックが通るとその振動で長さ60mの橋が揺れたそうです。

老朽化もあり、1958(昭和33)年4月に、『洲本橋』(兵庫県洲本総合庁舎前)として完成させ、塩屋橋は撤去されました。

塩屋橋は現存する唯一のポニートラス橋で貴重な鉄骨橋であったため、『登録有形文化財』に指定され、現在は淡路島公園に移設されています。

昭和初期



※洲本市立淡路文化資料館 提供

昭和31年



※撮影=宗 虎亮氏

現在は、新しい『洲本橋』が少し上流に完成したため、元々あった場所に橋はありません。



現在

遺産的価値を評価され、登録有形文化財に指定されています。



登録有形文化財プレート

南あわじ市阿那賀 県道 阿万福良湊線

まだ防潮堤が築かれていない頃の県道。

写真は三原郡連合青年団が主催した三原郡一周駅伝大会のもの。この大会には一般青年のほか、高校生や中学生の各5チームが参加しました。前後に伴走する主催者の車も、対向車線にふくれて伴走できたのんびりとした時代だったのでしょうか。

昭和45年



※樹林舎『淡路島今昔写真集』より
提供=南あわじ市

現在、海岸線には防潮堤が築造され、消波ブロックも積まれています。しかし冬は海風が強く、波が防潮堤を越えて道路を濡らすこともしばしば。



現在

淡路市岩屋 県道 福良江井岩屋線

淡路市岩屋。対岸の明石と、フェリー・連絡汽船で結ばれる島の北の『玄関口』です。真ん中の家を中心に左側が県道(その家の先は国道)で、右側の路地が商店街です。

昭和29年に岩屋と明石を結ぶ県営明石フェリーが開通しましたが、道はまだ未舗装で雨が降れば水たまりができ、靴を泥んこにしながら汽船場に行ったことでしょう。

昭和31年



※撮影=宗 虎亮氏

現在は、道路も舗装され、商店街は今も当時の道幅を残し、同じ光景を見ることが出来ます。



現在

お知らせ

『アワイチ フォトスポット』を設置しました!

淡路島は、サイクリングに適した場所であり、その北端に位置する岩屋港は、淡路島と本州をつなぐ海の玄関口として、『アワイチ』の出発点となっています。

そこで、岩屋港に隣接するポートパークにフォトスポットを設置しました。今後はポートパークを全面的に更新し、周辺施設と一体的にリニューアルします。風光明媚な『絵島』や、人気を集める『アワイチ』の出発点にふさわしい魅力ある公園に生まれ変わります。



祝 岩屋港ポートパーク アワイチフォトスポット
完成式典(令和5年3月3日)